

## 「気持ちのコントロール（運動場面）」

### 【ねらい】

- ・困った時にどのように助けを求めればよいかを知る。
- ・審判をやる中で、審判をやることの難しさを知る。
- ・友達と関わり合う中で、気持ちをコントロールする経験を積む。

※児童の実態に即したねらいを設定して、指導を行います。

### 【学習の流れ】

1. めあてと活動内容を確認する。
2. 友達と一緒に楽しむ活動をする。
  - ・観察ゲーム
  - ・ロールプレイ
  - ・やってみよう！
3. 振り返りをする。
  - ①自分のめあてについて振り返りを行う。
  - ②今日学んだことを、クラスでどのように活かせるかを発表する。

### 担任の先生・保護者の皆様へ

今週の小集団学習では、「気持ちのコントロール（運動場面）」を行いました。在籍学級での体育や休み時間に友達と遊んだときなど、気持ちのコントロールが難しい場面は日常的に多くあります。特に「タッチした、していない」、「ボールが当たった、当たってない」など、当事者間で判断し難い場面では自分の考えを押し付けてしまったり、相手のせいにして怒ったりして、トラブルに発展してしまいます。熱くなる場面では気持ちの変化が起きやすいことを自覚したり、活動の中で判断が難しい場面があることを知ったりすることで、今後の学校生活の心構えができることと思います。気持ちのコントロール方法については、今後も繰り返し指導を行い、様々な場面で生かせるようにしていきます。